

除草剤耐性ダイズと害虫抵抗性及び除草剤耐性トウモロコシの展示栽培

(展示栽培期間：平成24年度)

確認項目	確認結果
交雑防止措置について	<p>○交雑防止措置について</p> <p>本展示栽培は、(独)農業生物資源研究所(生物研)内のほ場において、 ・ダイズについては隔離距離による交雑防止措置をとって行ったこと、生物研内の同種栽培作物までの距離が10m以上、生物研外の最も近い農家の畑との距離は約550m離れていることを確認しました。 ・トウモロコシについては隔離距離によらない交雑防止措置のうち、除雄を行ったことを確認しました。</p>
	<p>○選定場所における風の影響について</p> <p>・ダイズについては、開花期における栽培実験区画の推定平均風速の算出値が毎秒3mを超えないことを確認しました。また、風の影響への対応として平成24年7月18～9月12日の間、防風ネットを設置したことを確認しました。 ・なお、トウモロコシについては、除雄を行っているため、本措置は必要ありません。</p>
	<p>○開花前の低温により交雑の可能性が想定される場合の措置について</p> <p>・ダイズについては、他家受粉の可能性が想定されるような低温にはならなかったことを確認しました。 ・なお、トウモロコシについては、除雄を行っているため、本措置は必要ありません。</p>
	<p>○モニタリング措置について</p> <p>・ダイズについては隔離距離による交雑防止措置をとっていますが、食品安全性承認作物及び飼料安全性承認作物であるため、モニタリング措置は必要ありません。 ・なお、トウモロコシについては、除雄を行っているため、本措置は必要ありません。</p>
混入・拡散防止措置について	<p>○実験の種子、種苗の分別管理、野鳥等の食害による拡散防止について</p> <p>・ダイズ及びトウモロコシともに種子を密閉容器に入れ、他の種子と区分して実験室冷温庫で保管・管理していることを確認しました。 ・また、ほ場では播種後、一定期間防鳥ネットを設置して、野鳥等の食害による拡散を防止としたことを確認しました。</p>
	<p>○栽培実験に用いた機械施設等の洗浄等について</p> <p>機械等は各ほ場の栽培実験区画内で払い落としした後、管理棟洗い場で洗浄したと、被覆等は栽培実験区画近くで払い落としを行ったことを確認しました。</p>
	<p>○第1種使用規程承認作物の収穫物の管理等について</p> <p>収穫物については、密閉容器に入れ、他の収穫物と区別して実験室冷温庫で保管・管理していることを確認しました。</p>
	<p>○栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物等の処理等について</p> <p>植物体の刈取りを行い、細断後、鋤込みにより不活化したことを確認しました。</p>
	<p>○第1種使用規程承認作物を栽培した区画での後作の収穫物の取り扱いについて</p> <p>本展示栽培終了後の後作については、平成24年11月19日にエンバクを播種し、平成25年3月26日に鋤込みにより不活化したことを確認しました。</p>
栽培実験に係る情報提供について	<p>○計画書の公表について</p> <p>計画書について、平成24年4月6日にプレスリリースにより公表したことを確認しました。また、同日に生物研のホームページに掲載されたことを確認しました。</p>
	<p>○説明会の開催等について</p> <p>説明会を平成24年4月26日に開催したことを確認しました。説明会には41名の参加があったこと、見学については27件(435名)の受け入れを行ったことを確認しました。</p>
	<p>○栽培実験の経過に関する情報提供について</p> <p>説明会の開催を含め、本展示栽培の経過について、26件の情報が生物研のホームページに掲載されたことを確認しました。</p>
	<p>○栽培実験を終了した後の情報提供について</p> <p>本展示栽培での栽培及び処理の終了について、平成24年12月25日に生物研のホームページに掲載されたことを確認しました。また、本展示栽培の結果について、平成25年4月11日に別途開催した説明会において説明したことを確認しました。</p>
栽培実験に係る管理体制の整備について	<p>○栽培実験に係る管理体制の整備について</p> <p>栽培実験責任者、作業管理主任者、情報提供主任者を指名して管理体制を整備していることを確認しました。</p>

独立行政法人農業生物資源研究所 展示ほ場



展示ほ場全景
(平成24年7月24日撮影)



組換え・非組換えトウモロコシ



組換えダイズ 除草剤使用区 (異なる除草剤を使



組換えダイズ 無除草区
(平成24年7月24日撮影)